

E V車両導入事例

京都第一交通株式会社 本社営業所

EVタクシー 導入時期	令和7年2月25日～ (市補助活用車両)
営業所所在地	京都市伏見区下鳥羽東芹川町54
導入している台数	日産リーフ (60kWh) 10台 (うち、1台に市補助活用)
利用頻度	1日12時間運用
導入目的	試験的導入のため



導入者の声

地域交通、公共交通の担い手として地域社会の未来も見据えた取組のひとつに、環境問題への取組も掲げており、その一環でEVタクシーを導入しました。

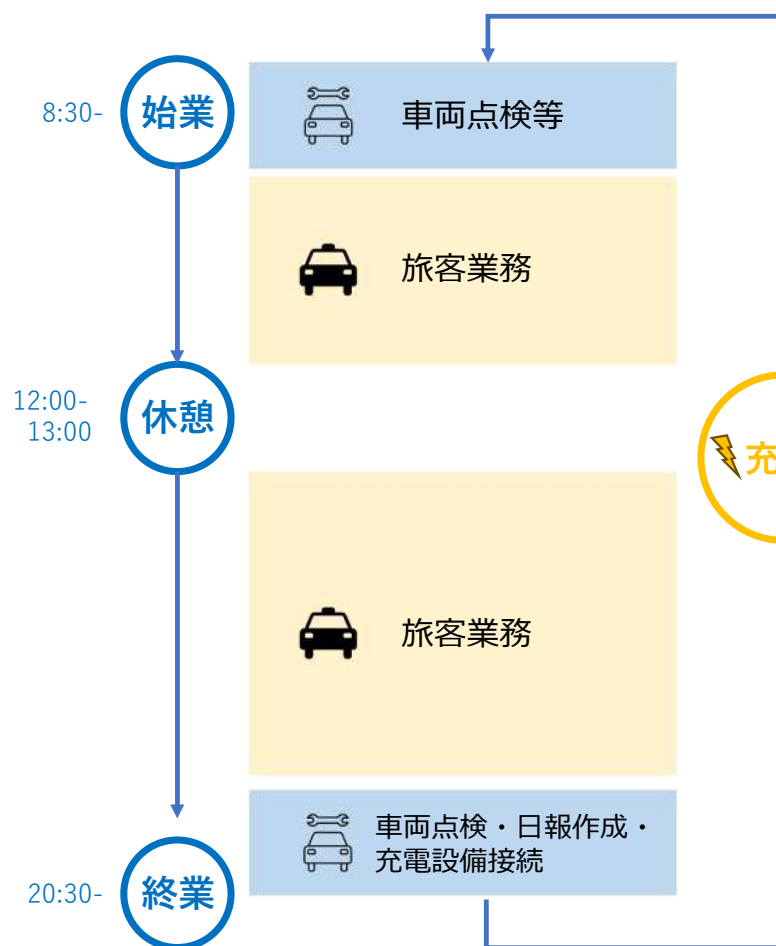
移動の間に利用者が快適に過ごせるような空間を提供できればと考えています。

EVタクシーの評価は高く、静か、揺れないなどのお声をいただくこともあります。

イニシャルコストは通常の車両と比べて高価ではありますが、ランニングコストも踏まえ、トータルで考えるとメリットもあると考えています。

E V車両導入事例

E V車両の1日のスケジュール



- ・ 充電時間は12時間を確保
- ・ 始業時にはフル充電♪
- ・ 1両につき充電設備1基

ママサポートタクシー



お墓参りサポートタクシー

子どもサポートタクシー

E V車両導入事例

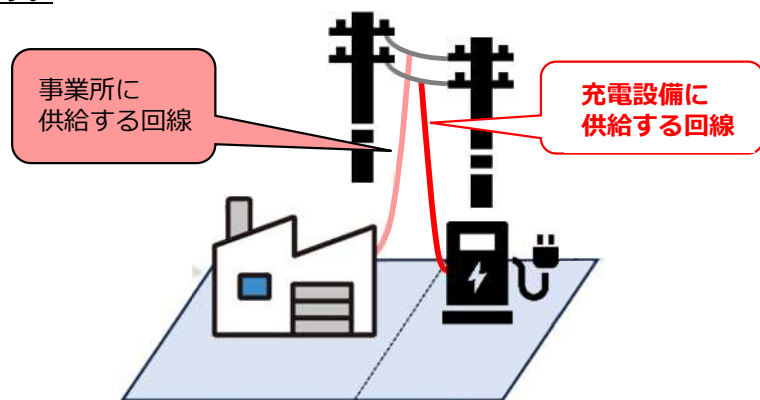
E V 充電設備の設置方法について（特例需要場所の活用）

特例需要場所として、電柱から事業所自体に引き込んでいる電気とは別に、充電設備用に電気を引き込むことで、事業所のキュービクルを改修することなく、EV充電設備の導入を実現！

ポイント

特例需要場所※（複数回線の引込み）

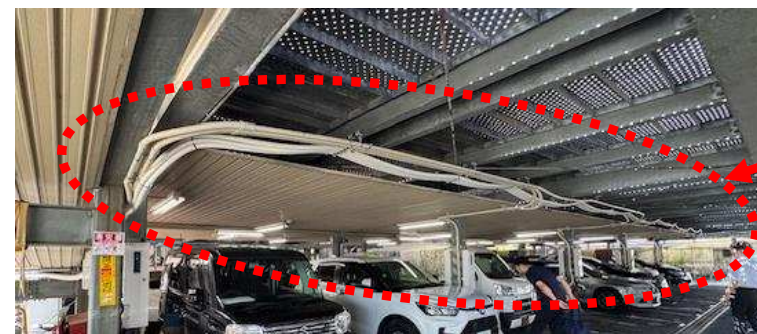
事業所に供給する回線とは別に充電設備用の回線を引込んで電気を供給することで、既存受電設備の電気容量や配線経路がない場合でも、**充電設備の設置が可能となる場合があります。**



※特例需要場所としての条件を満たしている必要があります。対象かどうかは資源エネルギー庁HPで御確認ください。

資源エネルギー庁HP：

https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/summary/regulations/faq/q1.html



充電設備へ電力を供給するための電気配線

EV充電設備（ケーブル付き）



車両1台につき、
1基充電設備で運用



市補助を活用して導入した車両

E V車両導入のメリット・課題、懸念点

メリット



燃料費が **1/3** に！！（キロ単価ベース）

通常車両と比較して、
CO₂排出量 **60~70** %減！

仕事環境の改善に！！

ドライバーからは、静寂性や操作性の向上、
そして疲労感の低減などの声が！！

課題、懸念点



○ 電欠懸念

当初懸念していた電欠はほぼ起きていないものの、緊急時用に急速充電用の充電カードを用意。

○ 選択肢が少ない

国産車の選択肢がまだまだ不足…
（タクシー向きのEV）

例）通常車両と比較して、ステップが高い。
→ お客様の乗降時に配慮が必要。

E V車両導入事例

他にもいろいろ聞いてみました♪

今回はどのような補助金を活用されたのですか？

国補助：商用車等の電動化促進事業

市補助：京都市運送事業者向け車両の脱炭素化モデル支援事業を活用しました。

その結果、補助金の合計は**1,394,000円**になりました。

EV車両導入時に苦労したことはありますか？

車両に合わせて充電設備も導入したのですが、充電設備を整備するにあたり、事務所の受電設備の拡充とエネルギーマネジメントシステムを導入すると費用的にも負担が大きくなると考えて、**特例需要場所での別引込み**を利用することで整備を進めることができました。

今後の導入計画等がありますか？

環境対応車導入については、**EV以外の環境対応車（燃料電池車・PHV・HEV）**などの可能性についても並行して検討し、今後の世界情勢にも注視しながら、柔軟に対応してまいります。

御社のアピールポイント等をぜひお聞かせください。

当社では、充電設備の整備については本社からの協力体制があり、当社が立ち上げたタクシー会社のネットワーク「No.1タクシーネットワーク」を通じて**約800社に共有**していく予定です。

“だれもが自由に移動できる”公共交通・地域交通としての役割を全うしつつ、地域社会の未来も見据えた取組を引き続き行ってまいります！！

エコちゃんMEMO

EVタクシーが増えつつあるとは言ってもまだまだ普及初期段階。この段階からEVタクシーの導入や実証実験を行うなど、精力的に環境への取組を実施されています！

しかもその取組についてはタクシー会社さん同士で共有されるのだとか！

今後の取組内容、そしてタクシー業界全体の動向にも注目です！

